

# 安全で安心して暮らせる地域づくりをめざして

## 平成19年度鹿児島県地域福祉推進大会

～県内各地から700人が参加～

平成19年度鹿児島県地域福祉推進大会が、昨年11月29日、福祉関係者等約700人の方がたが参加し、かごしま県民交流センターで盛大に開催されました。概要は、下記のとおりです。

### 〈主催者あいさつの要旨一部〉

〔県社会福祉協議会 会長 今吉 弘〕  
〔県共同募金会〕

地域社会を取り巻く昨今の状況は、残念ながら現代社会の事案を背景に、過去には考えられなかった残忍な事例が見られるようになりました。私どもは「安全で安心して暮らせる地域社会」の実現をめざして、地域住民が主体的に活動し、ともに支え合っていく共生・協働の活動や社会連帯に基づいた事業などを、住民や関係機関・団体とともに積極的に展開して参ります。



### 〈社会福祉の増進に貢献した方がたの表彰式〉

長年にわたり県内の福祉の充実のため格別のご尽力をいただいた個人・団体等に対する表彰が行われました。受賞された方がたのご功績とご労苦に対し、深く敬意を表します。

#### 〈県社会福祉協議会長表彰〉

・表彰状 240人, 11 団体  
・感謝状 2人

#### 〈県共同募金会長表彰〉

・表彰状 5人, 27 地区  
5 団体, 1 支部

#### 〈中央共同募金会長感謝楯・感謝状伝達〉

・感謝楯 2 団体 ・感謝状 2人, 6 団体

### 〈パネルディスカッション〉

「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らせる地域社会づくり」をテーマに、下記の方がたによるパネルディスカッションが行われました。

(実践報告)

- ①「住民主体の地域づくりのために」  
(校区社協における地域住民の福祉活動に対する意識の変化や取り組みの状況を報告)
- ②「障害者の地域生活移行支援活動と地域住民の理解」  
(障害者が地域で暮らすための見守りネットワークの構築や障害者自立支援協議会の必要性を報告)
- ③「地域に根ざした子育て支援活動の取り組み」  
(子育て支援のあり方やボランティアとして活動に参加できる喜び等を報告)
- ④「災害時のボランティア活動と地域住民への理解」  
(豪雨等災害時における地域住民とボランティアとの連携のあり方や災害マップづくりの必要性を報告)



(豪雨等災害時における地域住民とボランティアとの連携のあり方や災害マップづくりの必要性を報告)

地域福祉活動を先駆的に実践されている事例をもとに、熱心な討議がなされ、今後、地域が取り組むべき課題が見えてきて有意義な大会となりました。



### 〈コーディネーター〉

・鹿児島国際大学教授 高橋 信行氏

### 〈パネリスト〉

- ①曾於市社会福祉協議会  
ボランティアコーディネーター 山口 和美氏
- ②ゆうかり学園副施設長 水流 源彦氏
- ③ママーズ21企画  
子育てサポートコーディネーター 田之脇理恵子氏
- ④薩摩川内市社会福祉協議会  
ボランティアコーディネーター 内野 久子氏

### 〈助言者〉

・県社会福祉協議会 参事 新澤 俊一